

2014-2016

シユタイナー教育教員養成講座

第9期 募集要項

**2014年
7月開講**

Waldorf Teacher Training Course

シュタイナー教育は、自らのうちにしっかりとした芯を持つ人間を育てる未来への教育として、多くの教育関係者や父母から関心を集めています。不安の多い現代、私たちひとりひとりが心から感じ、自ら考えることが欠かせません。

このシュタイナー教育教員養成講座では、次の3つを柱に2年で30日間のカリキュラムを組んでいます。

ルドルフ・シュタイナーが提唱した人間観・世界観の基礎

シュタイナー学校の教師による教授法等のセミナーや様々な芸術体験

シュタイナー教育を社会や家庭の中で実践するための基礎的な知識

全国にあるシュタイナー学校の教員を目指す方はもとより、土曜クラスや普通学校の教育現場など、この講座での学びは各方面での実践に生かされています。またそれぞれ受講者の方がシュタイナー教育のエッセンスをヒントに、活動を広げていらっしゃいます。そのような方々がこの講座で出会い、新たな世界を切り開く力が生まれることも、この講座の目指すところです。

日 程

2014～16年 2年間で計30日間（4回／年 各3～5日間）

初年度	①2014年7月30日（水）～8月3日（日）	5日間
	②2014年10月11日（土）～13日（月祝）	3日間
	③2014年12月26日（金）～29日（月）	4日間
	④2015年3月27日（金）～29日（日）	3日間
2年度	①2015年7月29日（水）～8月2日（日）	5日間
	②2015年10月10日（土）～12日（月祝）	3日間
	③2015年12月26日（土）～29日（火）	4日間
	④2016年4月1日（金）～3日（日）	3日間

※本講座は時間の制約上、海外の全日制の教員養成等に匹敵するものではなく、教育の基礎と本質を学ぶものです。修了時に上記課程の修了を証明する修了証が、普遍アントロポソフィー協会教育部門（スイス・ドルナッハ）との連名で発行されます。

場 所

オーディオペーデ研修センター（横浜市港北区綱島）
※宿泊施設はありません。宿泊は各自で手配して下さい。

受講料

1年間30万円（分割あり）
※オイリュトミーシューズ、リコーダー等教材費別途必要。

【早期割引】

右記締切までにお申し込みいただいた方には、早期申し込みの特典として、受講料（初年度のみ）を下記のようにいたします。

一括納付	30万 → 27万円
二分割	31万 → 28万円
三分割	32万 → 29万円



■ オイリュトミー

シュタイナー教育では“魂の体操”といわれるオイリュトミー。個人で、他者と、又はグループで動くことを通して心と体のあり方や、個と全体の関わりなどを体験します。

■ セミナー

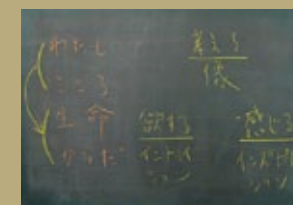
シュタイナー教育の実践に向けての教授法とその背景にある考えを、現場に立つ教師たちから学びます。また、シュタイナー教育の中で、子ども達が体験するエポック授業・手仕事等を実際に体験し、教育芸術としてのシュタイナー教育を学んでいきます。

■ 聴く体験と観る体験

本講座の特色として、聴くこと、観ることを継続的に体験し、教師の自己教育としての基盤となる聴く力、観る力を育むことを目的のひとつとしています。響きの楽器の体験で感覚を磨き、水彩・フォルメン線描などを通して自らの感覚を広げます。

■ 主な講師

影島 清恵・鈴木 一博・竹田 喜代子・増淵 智・柳澤 玲一郎・吉澤 明子



■ 講義

シュタイナー教育の基本となるルドルフ・シュタイナーの人間観・世界観を、文献を通して講義形式で学びます。また、ディスカッションの時間を設け、積極的に疑問や質問、自らの思いを講座で共有し、机上の学びでなく自らのこころが通う学びを目指します。シュタイナー教育の基本文献である『教育の基礎となる一般人間学』を講座終了後も受講者自身で読み深めていけることを二年間の目標とします。

1時限（午前）	オイリュトミー
2時限（午前）	講義（2コマ）
3時限（午前）	観る体験
—	昼休み
4時限（午後）	セミナー
5時限（午後）	聴く体験
—	振り返り/ディスカッション

応募

応募用紙に必要事項をご記入の上、下記運営会まで郵送にてご応募下さい。応募用紙は、WEBからもダウンロードできます。

応募締切：通常5月25日

早期割引4月30日消印有効

締切からおおよそ1週間程度で、受講の可否をお知らせします。

シュタイナー教育教員養成講座運営会

〒223-0052 横浜市港北区綱島東 3-5-50 コリエンテ綱島 1F

電話 03-6869-2196（受付 火～金 10:00～16:00）

FAX 03-6369-3898

Email kyouinyousei@gmail.com

WEB <http://steiner-jp.net/>

受講者の声

子どもの成長について学んだことで、この学年の子どもにはこの学びが必要なのだとか、まだ少し早過ぎるとか、そういったことが判断できるようになった。今は(公立小学校で)3年生を担当しているが、授業の導入にお話をして、そこから算数の学習に入るなどしている。(E.N.さん・6期)

教員養成講座での2年間の学びは、これまで当然のように歩いたり考えたり感じたりして存在していた自分に、丁寧に目を向けて自分が自分に問うていく作業であり、時に痛みを伴うはじめての体験であった。自分と向き合うきっかけとなったのは、講座の大半をしめていた芸術体験である。この芸術体験を通し、自分の中にある様々な感覚を知ることができた。1つの大きな経験としては、自分の内側の静けさを感じられたことである。そのような状態を経験する前は想像すらしなかったと思うが、内の静けさを感じたことで、自分の内側は平面ではなくふくらみのあるものであると感じられるようになった。

(Y.N.さん・6期)

「我が事」としたときに、物事は はじめて私にとっての真実になる、ということ。「我が事」は、講座全体にわたって様々な角度、様々な言葉で語られてきた 大切なキーワードであると思う。講義の時は「我が事にするって大変な事だなあ……」と感じていたが、そのように外界を「我が事」としていくことが出来るのは、人間だけに許された自由であり、何と幸せな楽しい作業だろう。(T.K.さん・6期)

FAQ

Q: 受講条件はありますか? (年齢、教員免許の有無など)

A: 20歳以上の方が対象であり、教員免許の有無は問いません。

Q: 講座を欠席した場合、どのように補填できますか?

A: 必要履修単位に満たない方は、次期以降の教員養成講座で補講が可能です。また、欠席した分の受講料は返金いたしません。

Q: シュタイナー学校の教員は教職免許が必要ですか? また、この講座の修了で、シュタイナー学校の教員資格となりますか?

A: 学校法人のシュタイナー学校では、日本の教員免許が必要です。また、シュタイナー学校の教員応募の条件としてシュタイナー教員養成修了が求められます。本講座の修了生で現在シュタイナー学校で教えている皆さんは、実践力を身につけるために本講座とは別に各自実習にあたる場を求め、そののちに全日制のシュタイナー学校の教員として活躍されている方が多いです。

Q: この講座を終えたら、シュタイナー学校の教員として働けるのでしょうか?

A: 各学校の状況によりますが現実的には実際の公教育等での教師免許や経験などが必要な場合が多いと思われます。講座終了後、すぐに具体的な仕事に結び付くもの(資格等)とお考えにならない方がいいと思われます。

Q: 講座から、各学校への斡旋や紹介はありますか?

A: 特にありませんが、各地のシュタイナー学校や土曜クラスから教員募集がある時には、その都度受講生にお知らせしています。